

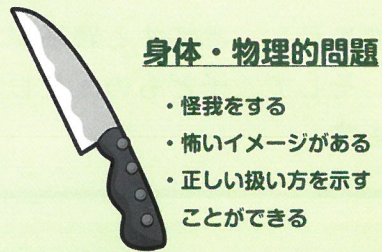
## スマホに潜む魔法の力

スマホやネットの危険性を包丁に例えることがあります。両者は危険性の「質」が異なります。包丁など加工の為に使う道具の危険には、痛い思いをする嫌なイメージがあります。対してスマホやネットの危険とは、まるで魔法にかけられたように、好んで自ら誤った判断をしてしまう点にあり、本人が間違いに気付けないことが特徴です。

### 包丁とスマホの危険性の違い

包丁などの一般の道具は怪我や事故など危険が想像しやすく、注意しながら安全な使い方を体で覚えます。対してスマホは思考や精神に直接働きかける力があり、包丁のように経験に頼って体で覚えるものではありません。

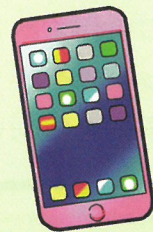
包丁の注意点が力加減や身体への危害に対して、スマホの注意点は思考の変化や誘惑など頭（判断）の問題なのです。



#### 身体・物理的問題

- 怪我をする
- 怖いイメージがある
- 正しい扱い方を示すことができる

手元に注意しながら扱い方を練習して、取り扱いのルールを守る。



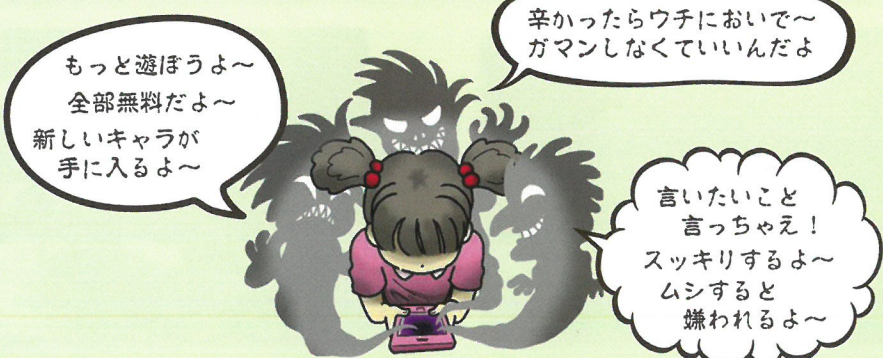
#### 思考・精神的問題

- 判断を誤る
- 怖いイメージがない
- 正しい扱い方を示すことができない

発信者の意図を読み、情報に流されない賢さを身につける。

### 欲求を引き出す「操り魔法」の危険

スマホの危険性は、精神や判断に作用することです。それはまるで魔法のように私たちを誘惑し、思考を狂わせ、誤った判断をさせようと働きかけているようにも見えます。スマホやネットで起こる問題の多くは、使っている本人だけの問題ではありません。そのような気持ちにさせる不思議な力が働いていると考えながら、利用者（子ども）目線で問題を考える必要があります。



## 子どものスマホ四大リスク

インターネットに起因する問題の多くは、利用者の目的意識が原因です。私たちは欲求を叶えるためにスマホを使いますが、その欲求が自分勝手なものや、刹那的なものであれば、その結果はおのずと悪い方向へ向かいます。多種多様なコミュニケーションが行き交うインターネットでは、子ども達の精神的な幼さがリスクを高めているのです。



### 中毒性

スマホは動画やゲームを際限なく提供してくれる誘惑の道具でもあります。つまらない日常から刺激的な仮想世界へいつでも遊びに行けることで、相対的に日常が面白くなる怖さが潜んでいます。

### 関係性

人間関係に敏感な思春期の子ども達は、ネットにつながりを求めながらも、相手の本心が読めず疑心暗鬼に囚われやすい状態にあり、些細なことで関係が悪化しやすくなります。



### 有害性

家出や自殺に興味があれば、簡単にその情報や人とつながります。思春期の難しい心の葛藤に苦しむ子ども達の中には、外の世界に居場所を求めようとして犯罪に巻き込まれることもあります。



### 社会性

便利なものに頼ることで、自分を磨く必要性が相対的に減りやすくなっています。面倒なことを避け、安易な手段にする目的でスマホを使うことは、子ども達の将来に影を落とす危険があります。

## ネット時代を歩く3つの視点

スマホを通じてネット社会に参画することは、より高度なコミュニケーションに対応できる知識や能力が不可欠になります。そのためには、段階的にスマホを扱うための安全対策だけでなく、情報を読み解き活用できる思考力や、主体的に人と関われる社会的スキルなど、広く日常生活の中で学ぶ機会を持つことが重要です。

### ネット上の安全を考える



様々な人や情報とつながりあうインターネットは、大都市に例えて考えることができます。子ども達がネット上で関わる情報や人物は、人間社会そのものです。安全に街を歩くのと同じように、ネット上の安全を確保して子ども達がネットを通じて社会を学べる環境を整えます。

- フィルタリングや制限設定をしよう
- 身の安全を守るルールを決めよう
- 周囲に配慮した使用を心がけよう

### 疑問を持ち考える



様々な立場や考えや目的を持つ人達が集う世の中には「正しいこと」が無数にあります。ネットは世の中を映し出す鏡のようなものです。多くの情報の中から判断する時、論理的思考や疑問を持つ姿勢、常識を疑う力など「考える力」が必要です。

- 物事に疑問を持つようにしよう
- 原理や仕組みを考えよう
- 好奇心を絶やさず世の中に関心を持とう

### 人間社会を知る



スマホを使う理由は他者や社会と関わることです。どの様に他者や社会と関わりたいか、自分は何をしたいのかなどを考えられる社会的な力（生きる力）がスマホを使う原動力なのです。スマホを使うには、人を知り社会を知り自分を知る体験機会が重要なのです。

- 自分らしさを確立しよう
- 思いやりや許す心を持とう
- 人間らしさとは何か考え続けよう

親子学び合い講座の講師（下田氏）が主催する団体のウェブページ等で詳しい情報を発信しています。



YouTube

Home Page



LogicalKit

Home Page